

第3回「コンクリート技術大会（郡山）」開催案内

東日本大震災の発生から約半年後の2011年10月福島県会津若松市にて「東日本大震災の復旧・復興に貢献するコンクリート技術」をキャッチコピーとしてコンクリート技術大会を緊急開催いたしました。今回は、昨年仙台にて開催した第2回大会に引き続き、郡山において第3回大会を開催することと致しました。テーマは「放射能対策、震災の復旧・復興、防災・減災に貢献するコンクリート技術」とし、下記の要領にて開催いたします。本大会は、コンクリート技術に関する情報収集および発信、ならびに実務者の交流の場としてよい機会になると思います。ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 主催：日本大学工学部、日本コンクリート技術(株)、日本コンクリート製品フォーラム
2. 会期：2013年10月31日（木）～11月1日（金）
3. 会場：ホテルハマツ
〒963-8578 福島県郡山市虎丸町3番18号 電話：024-935-1111
4. 参加費：5,000円（CD-ROM版論文集および参加証を含む）
5. 申込方法：配布チラシの申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください。日本コンクリート技術(株)のホームページ（<http://www.jc-tech.co.jp/>）からもお申込みいただけます。参加費のお振込みを確認できた方には、10月15日頃に「CD-ROM版論文集」と「参加証」を送付いたします。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。
6. 事前申込締切：10月11日（金）（FAX, E-mailとも当日着信有効）
（注）10月11日（金）までに間に合わない場合は、当日、会場受付にてお申込みください。
7. 主要行事
 - (1) 基調講演会
日時：10月31日（木）10:00～12:00
内容：東京工業大学名誉教授 長瀧重義 「開会挨拶」
日本大学工学部 学部長 出村克宣 「ロハスの工学を目指して」
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長 大迫政浩 「環境研究からのコンクリート技術への期待 ～放射能汚染廃棄物問題との関連～」
福島県土木部 土木企画課長 杉明彦 「県土復興に向けた福島県土木部の取組み」
 - (2) 技術講演会（論文・報告：33編）
日時：10月31日（木）13:30～16:40
内容：放射能関連、復興コンクリート、防災・減災技術、合理化施工等
 - (3) 特別講演会（入場無料・一般入場可）
日時：10月31日（木）17:00～18:00
講演者：会津史編纂・研究家 野口信一（元会津若松市立会津図書館館長）
主な著書「会津藩—九代二二五年にわたり徳川幕府を一途に支えた、会津藩。その精神性ゆえ悲劇に突き進む。」「会津とっておきの歴史」、「会津えりすぐりの歴史」
演題：ハンサムウーマン新島八重と会津精神

(4) 懇親会

日時：10月31日(木) 18:15～20:00

会場：ホテルハマツ 平安

参加費：7,000円

※参加をご希望の方は講演会と同じ申込用紙にてお申し込み下さい。講演会参加証、CD-ROM版論文集とあわせて「懇親会参加証」をお送りします。

(5) 復興コンクリートパネルディスカッション

日時：11月1日(金) 9:30～12:00

内容：復興インフラの長寿命化を目指して

コーディネータ：岩城一郎(日本大学)

登壇者：石田哲也(東京大学)、細田暁(横浜国立大学)、佐藤和徳(国土交通省東北地方整備局)、二宮純(山口県)、田中直樹(NEXCO 東日本東北支社)、久田真(東北大学)、丸屋剛(大成建設)、新田裕之(東栄コンクリート工業)、野中賢(日経コンストラクション)

(6) JPCF2013

日時：10月31日(木) 12:30～16:30

テーマ：「P C a 業界、ここだけの話」

内容：「経営者情報交換会」

1. 基調講演「成熟化社会におけるコンクリートの役割」

講師：岡山大学名誉教授(元土木学会会長)・阪田憲次

2. フリートーク形式で業界の課題や方向性について意見交換

(7) パネル展示

日時：10月31日(木) 9:30～11月1日(金) 12:00

内容：材料、機械、工法に関する最新技術や情報の活用。約50社の参加を予定。

(8) 見学会：11月1日(金) 12:00 ホテルハマツ出発、A、Bの2コースを企画

Aコース：会津地方土木遺産等視察 土木学会により近代土木遺産に認定された日本最古の水門である「十六橋水門」および大正時代に築造された「東京電力猪苗代第一、猪苗代第二発電所」を訪ね、先人の遺した偉業を視察。

猪苗代経由→13:30 十六橋水門→15:00 東京電力猪苗代第一発電所(設備機械等見学)→16:30 東京電力猪苗代第二発電所(煉瓦施設見学)→17:30 会津若松駅着(大型バス3台、定員120名程度)

Bコース：浜通り被災地視察 原子力発電所事故により放射能被災を受け、住民の避難が続いている原発20km圏内地域の被災状況および常磐自動車道路建設現場を視察。

飯館村経由→14:00 南相馬着→常磐道建設現場視察→浪江町視察→17:00 現地発→18:00 仙台空港着→18:30 仙台駅着→20:30 郡山駅着(マイクロバス2台、定員60名、事前登録制)

参加費用：A,Bコース、6,000円(バス代・昼食代を含む)

※お申し込みは講演会と同じ申込用紙にてお願いします。

8. 問合せ・連絡先

◆技術大会および見学会

日本コンクリート技術株式会社(担当：河野)

TEL：03-5669-6651, FAX：03-3632-2970, E-mail:kkono@jc-tech.co.jp

◆技術大会およびパネル展示

日本コンクリート製品フォーラム(担当：(株)公共事業通信社 黒澤)

TEL：03-3431-2811, FAX：03-3578-3450, E-mail：h-kuro@tc4.so-net.ne.jp